

授業科目名 <英訳>	社会学（特殊講義） Sociology (Special Lectures)			担当者氏名	人文科学研究所 教授 富永 茂樹				
配当学年	全回生	単位数	4	開講期	通年	曜時限	火4	授業形態	特殊講義
題目	トクヴィル・モメント（6） 形式の追求								
【授業の概要・目的】									
アレクシス・ド・トクヴィルのテキストを読みつぐ試みは6年目，そして最終年度に入る。これまで平等化が近代社会の内部にもたらすいくつもの諸問題を検討してきたが、それにたいしてトクヴィルがどのように対処しようとしたのかが今年度の課題である。この政治哲学者がその著作のいたるところで用いる「形式」という言葉に注目することで、彼が同時代の社会に対峙するさいの姿勢とその特性に注目し、そこから彼の社会学的思考が同時代において、またその後のわれわれにとってももちうる意義を明らかにする。									
【授業計画と内容】									
まず前期には、これまで5年間に見てきたことからの概観をとおして、この哲学者の基本的な考え方と問題のありか、またその背景にある事情について確認をおこなう。ここで見ることができるのは、社会のなかで進展する平等化の動きと、そのさまざまな帰結であるとともに、問題を「発見」するトクヴィルの、他の思想家には見ることのできない特別な資質である。「深さの肖像」とでもいうべきことで要約することができるであろうことがらをふまえて、後期にはとりわけトクヴィルが「民主的な専制」の発生に代表される諸問題に対置する「形式の必要」を精査することになる。ジンメルを待つまでもなく、形式とは社会化の根底的な用件であり、そこからは人間の交流、家族、宗教などにかかわるいくつもの問題群を取り出せることが予想される。									
【履修要件】									
特別な知識は必要ではないが、19世紀以後の社会認識に関心があることが望ましい。									
【成績評価の方法・基準】									
学年末に試験を実施して、1年間の授業内容をどれだけ理解しているかを判定して、これにもとづいて成績評価を行う。									
【教科書】									
トクヴィル 『アメリカのデモクラシー』（岩波文庫） 富永茂樹 『トクヴィル 現代へのまなざし』（岩波新書） これらとは別に必要なテキストは、授業時にコピーなどを配布する。									
【参考書等】									
（参考書） 授業中に紹介する									
（その他（授業外学習の指示・オフィスアワー等））									
授業時に言及したテキストの該当箇所を、次の時間までに読んでおくことが望ましい。 オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。									